

経 済 部 観 光 課

1 観光振興対策

(1) 米子市観光協会事業活動に対する助成

米子市の観光と特産品の振興を図るため、米子市観光協会の事業活動への助成を行うとともに、その実施について協力した。

ア 観光客誘致宣伝事業

(ア) 米子市皆生温泉観光宣伝隊の派遣

期 日 10月19日・20日

派遣先及び内容 大阪府、京都府、奈良県内の信用金庫を訪問し、皆生温泉への送客を依頼した。

(イ) 吉本興業タイアップ事業

a 関西発 観光つき皆生温泉宿泊「お笑いバス皆生温泉号」の運行

運行機関 1月22日～3月12日 29回運行 参加者334人

b 大助・花子の健康ウォーキング大会の実施

期 日 10月2日 参加者1,173人

(ウ) 関西地区特別宣伝事業

JRA阪神競馬場内において、米子ステーキ開催にあわせて中海ふるさと物産振興会と共同で観光宣伝と物産コーナーを開設。

期 日 7月3日・4日

イ 情報発信事業

(ア) 報道機関等を利用した観光宣伝

a テレビ・ラジオ番組に出演し、皆生温泉や各種イベント、特産品等の紹介を行った。

b 雑誌・新聞の取材に対応した。

(イ) ホームページによる情報発信

観光協会のホームページをリニューアルして「米子観光ナビ」において、「皆生温泉」、「とっておき旬情報」、「観光モデルコース」等で米子市のPRを図った。

ウ 各種イベントの開催

観光客誘致と地域活性化を図るため、イベントの実施又は開催協力を行った。

(ア) 米子桜まつりを開催

期 間 4月2日～4月11日

加茂川・中海「さくら船」の運航、ノルデックウォーク城山巡り

(イ) 皆生温泉海水浴場を開設

期 間 7月10日～8月22日

(ウ) 全日本トライアスロン皆生大会

期 日 7月18日

(エ) 市民大茶会

期 日 10月24日

エ 観光商品造成事業

(ア) 「美水の郷」商品の造成

鳥取県西部・大山山麓は、歴史や豊かな大自然がもたらす恵みが豊富であり、この地を新たに「美水の郷」と名付け、「水」「食材」「温泉」「神話」にスポットをあてた商品造成に引き続き取り組んだ。

(イ) 「ゲゲゲの女房」の放映関連

ゲゲゲのふるさとゆかりの地巡り旅行商品の造成

7月 13本 集客人数 310人

ゆかりの地を巡るタクシーの運行

運行期間 4月1日～平成23年3月31日 利用者 197件 627人

(ウ) 大人達の社会見学コースの充実及び観光商品への取組み

見学場所 航空自衛隊美保基地、王子製紙米子工場、米子市水道局、
サントリー天然水(株)奥大山ブナの森工場、丸京製菓

旅行者企画ツアーの誘致 8件

見学施設の手配業務 手配人数 653人

オ 地域活性化対策事業

(ア) 米子下町観光ガイド

ガイド案内件数 136件 954人

(イ) 米子城跡を観光拠点への取組み

環境美化活動の実施 8月28日 参加者 160人

カ 指導育成・研修事業

(ア) 優良従業員の表彰

期日 5月18日 20年表彰 5人 ・ 10年表彰 12人

(イ) 米子下町観光ガイドの養成、研修

新規ガイドとして1人を任命 任命式 12月13日

キ 中海4市観光協会会議に関する事業(米子・境港・安来・松江)

(ア) 案内所にてDBSクルーズの乗船券の申し込み受付業務

(イ) ぐるっと周遊ガイドの作成

松江駅～境港駅間のバスの運行、足立美術館 - 由志園 - 境港間のバスの運行

(ウ) ゲゲゲの女房ゆかりの地マップの作成

ク 米子市観光協会首都圏観光大使

首都圏での観光宣伝及び誘客対策の一つとして、米子出身で首都圏在住の方に対し「よなご観光大使」を任命しており、今年度、3人を追加で任命した。

追加任命式及び意見交換会の開催

期日 6月26日 会場 TKP新宿スカイ会議室

出席者 28人

(2) 観光案内業務

米子駅構内に米子市観光案内所を設置し、観光案内業務を行った。

年間利用状況

宿泊案内	観光案内	交通案内	地理案内	その他	合計
1,037件	6,218件	7,931件	2,208件	4,224件	21,618件

(3) コンベンションの誘致

本市へのコンベンション誘致を促進するため、(財)とっとりコンベンションビューローに対し、運営費、大会開催支援補助金等の交付を行い、その活動を積極的に支援するとともにその活用を図った。

(大会開催支援補助金交付実績)

件数	参加者数	延宿泊者数	交付額 (米子市負担額)
17件	6,497人	8,200人	7,500千円 (3,750千円)

(4) 日本観光協会、山陰観光連盟、鳥取県観光連盟、中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会等の観光関連団体との連携を密にし、本市観光振興を図った。

(5) 特産品、観光土産品振興対策

特産品パンフレット「米子ええもん噺」の作製及び配布に協力し特産品の販路拡大を図った。

(6) 郷土芸能の保存、育成

米子がいな太鼓、米子がいな万灯の保存、育成を図った。

(7) 大山の美化、遭難防止活動等への協力

大山国立公園協会、大山の美化を推進する会、大山遭難防止協会等を通じて、大山の美化、自然保護等と遭難防止活動に協力した。

(8) 温泉地にぎわい創出事業

ア 観光宣伝事業の推進

米子市観光協会等と連携し、首都圏、中京、京阪神、山陽方面での観光宣伝事業を行った。

また、湯めぐりチラシやイベント特集チラシなど宣伝ツールの作成、ホームページのリニューアルを実施した。

イ 売れる商品づくり事業の推進

平成20年4月に商品化した滞在型健康保養プログラム「スリミングステイ ～3%美くなる旅～」について、フィッシュコラーゲンを活用した新たな料理メニューの開発や体験メニューをパックにした商品開発を行うとともに、パンフレットを英語版の他に中国語、韓国語版も作成し、新たに英語版のCD、DVDの情報ツールを作成した。

ウ 開湯110周年記念事業の実施

(ア) 鬼太郎バスの運行

通年、冬季に運行している鬼太郎バスを4～9月までの上半期に延長運行した。

(イ) 潮風の足湯のオープン

皆生海浜公園内に海の見える足湯を設置したことに伴い皆生温泉旅館組合が「潮風の足湯」と命名し、8月20日オープニングセレモニーを開催した。また、かいけ屋台村を開設して新しい足湯施設の賑わいを図った。

(ウ) 米子市観光センター展示場リニューアルオープン

米子市観光センターを皆生温泉の誘客の核となる施設として活用するため、ミュージアム施設としてギャラリー機能を強化して、より多くの作品や美術品が展示できる施設として改修したことに伴い、11月3日に皆生温泉旅館組合によりオープニングセレモニー及び記念イベントを開催し完成を祝った。

エ 花や樹木の植栽

とっとり花回廊の協力を得て、米子市観光センター周辺花壇の植栽を継続した。

オ 鬼太郎ちびっこ広場の実施

夏休み期間中、海水浴場特設会場で、毎夜、鬼太郎をテーマにしたイベント広場を開催し、ミニ花火大会、大抽選会などを実施した。

開催期間 7月23日～8月22日 毎日午後8時～9時 参加人数 10,202人

カ 鬼太郎に会う旅プランの実施

皆生温泉からゲゲゲの鬼太郎でおなじみの妖怪のまち・境港市を周遊するバスを運行し、JRや飛行機利用の宿泊客の利便を図った。

(9) 広域観光の推進

ア 国立公園「大山」を望む8の市町村で「大山山麓観光推進協議会」を設置し、広域的な観光振興策を推進するため、大山山麓エリアにおける優良な周遊滞在型観光地の形成を図ることを目的に、官民連携して各種事業を実施した。

構成市町村 米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、江府町、琴浦町

実施事業

- ・「大山王国」ホームページの維持管理
- ・「大山王国」建国イベント及び各種音楽コンサートの支援
- ・地元で開催される各種イベントへの積極的参加
- ・大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会に参画し、各種プログラムメニューの開発に協力した。
- ・大山パークウェイ構想の支援

イ 「中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会」

中海・宍道湖・大山圏域の観光振興を推進するため、鳥取県と島根県の行政、経済団体、観光協会及びNPO等が連携、協働して圏域全体の事業を実施した。

平成17年から、圏域の行政、経済団体、観光協会、NPO法人及び民間企業などが県境を越えた連携の必要性を認識し、4委員会で活動している。

(ア)圏域観光MAPの作成・配付、既存の情報の集約・統一化のための圏域観光ポータルサイトの運営

・22年4月「山陰遊悠絵図」発行

(イ)温泉地・美術館のネットワーク化による滞留型観光の実現

(ウ)観光ルートの設定及び体験型観光メニューの発掘

ウ 「山陰文化観光圏」の認定

国において、観光立国の実現に向けて、複数の観光地が連携して2泊3日以上滞滞在型観光を目指す「観光圏」の形成を促進することになり、大田～隠岐～日野～倉吉にわたるエリアで観光圏に取り組み関係する県市町村及び団体で「山陰文化観光圏協議会」を組織し、観光圏整備実施計画が認定を受けた。

事業実施期間 平成25年3月31日まで

エ 大山・中海圏域のエコツーリズムの推進

当地域の持ち味を活かした「新たな観光魅力づくり」と、環境保全と経済活動を両立させた「持続可能な観光地づくり」を実現するため、平成19年から取り組んでいる「エコツーリズム」について、皆生温泉と大山寺にツアーデスクを設置し、「ブナの森の古道散策」や「皆生海岸海上散策カヤック」等のツアー案内や受付を行った。

(10) 皆生・大山SEA TO SUMMITの開催

シーカヤック、自転車、登山の3種目で海岸から山頂を目指す自然体感型イベントを、モンベル社、鳥取県、米子市、大山町、日吉津村によって、皆生海岸～大山山頂をフィールドで第2回大会を開催した。

期日 9月4・5日 参加者 70組 177人

(11) 緊急雇用対策を活用した観光振興

ア 観光PR業務

境港観光案内所、米子空港案内所、蒜山道の駅（夏季のみ）に観光案内所を設け、米子市及び皆生温泉のPR及び誘客を行った。また、県内外で実施されたイベントに参加し観光PRを行った。

宿泊案内	宿泊予約		観光案内	交通案内	地理案内	その他	合計
	皆 生	米子市内					
131件	75件	67件	1,691件	4,440件	0件	4,588件	10,992件

イ ヘルスツーリズム開発業務

(ア)観光協会ヘルスツーリズム

健康・スポーツ等を切り口として、ツアーメニューの開発やイベントを企画し、トライアスロン選手強化合宿の受入や、合宿の誘致活動、メディアによる情報発信、講演会などを実施した。

また、美水の郷健康ウォーキングマップを作成して、ノルディックウォーキング等を開催した。

(イ)皆生温泉ヘルスツーリズム

皆生温泉で取組んでいるエコツーリズムや「スリミングステイ～3%美しくなる旅～」と協調し、健康・スポーツ・温泉等を切り口としてシーカヤックツアーメニューの企画及びモニターツアーの催行、「渚のさんぽ&ジョギングコース」マップを作成した。

ウ 観光プロモート推進業務

本市の観光振興のため、商品造成及びPR、販売、エージェン特対応を強化するとともに、地域振興イベントのコーディネート及びサポートを行った。

エ 皆生温泉旅行商品販路開拓業務

皆生温泉で取組んでいる「スリミングステイ～3%美しくなる旅～」とエコツーリズムを組み合わせた商品「^{びたび}美旅」を開発するとともに、首都圏及び中京、関西地区において皆生温泉のPR、誘客を図った。

オ 観光地清掃業務

皆生温泉遊歩道及び旧加茂川沿い、彫刻ロード等の観光地や、米子がいな祭、トライアスロン皆生大会等のイベント会場周辺について清掃作業を行った。

カ 皆生温泉街並み環境整備業務

皆生温泉街の街並み環境を整備し、観光客等に憩いの場を提供するため、観光センター及び皆生海浜公園、ポケットパークの花壇の拡充や管理、白砂青松のシンボルである黒松の管理を行った。

キ エコツアー市場調査業務

大山・中海圏域で取組んでいる各種エコツアーについて参加者へのアンケート調査を行い、満足度や改良点、認識理解度等についての分析、整理を行った。

ク 観光ホームページ外国語版作成業務

外国人に向けたインターネットでの情報発信を行うため、米子市観光協会のホームページに英語、ハングル、中国語の外国語版を作成して、外国人の誘致の強化を図った。

ケ 国際観光基盤整備業務

外国人観光客に対応するため、コーディネーターによる外国人パーソナルツアーに対応できる通訳ボランティアガイドの育成と、外国人の観光嗜好の調査を実施した。

コ 皆生温泉文化創造事業

米子市観光センターにリニューアルオープンした「素鳳ふるさと館」を核とした、新たな文化的な賑わいの創出と観光客等に憩いの場を提供するための企画展などのプランニングを実施した。

(12) 米子ソウル国際定期便の利用促進

「米子ソウル便利用促進委員会」を通じ、同路線の利用促進活動を行った。

2 観光資源の開発

(1) 観光施設の整備及び管理

ア 米子市観光センターの管理運営業務

(ア) 山陰観光の拠点として、昭和58年4月15日から利用開始。平成18年度から指定管理者制度を導入し、引続き皆生温泉旅館組合に管理運営業務を委託している。皆生温泉の観光案内、旅館の斡旋、各種集会室の使用許可、バス発着場など観光客及び地域住民の幅広い利用を図った。

[年間利用状況(テナント、広告看板、バス停利用を除く)]

区分	観光案内	多目的ホール	会議室	料理研修室	和室	第1展示ホール	第2展示ホール	部屋利用合計
件数	11,809件	408件	763件	18件	137件	0件	280件	1,606件
人員	37,800人	11,350人	8,210人	120人	1,140人	0人	3,030人	23,850人

(イ) 米子市観光センター指定管理委託先 皆生温泉旅館組合
指定管理委託料 1,515,000円

オ 米子市淀江温浴施設管理業務

白鳳の里の隣接地に米子市淀江温浴施設(淀江ゆめ温泉)が平成12年8月4日開館。源泉を所有する株式会社白鳳に施設の管理運営を委託している。平成18年度より指定管理者制度を導入している。入浴料の他、株式会社白鳳の自主事業の努力により収支は安定しており、米子市より指定管理料は支出していない。

・年間入湯客数 120,426人

カ 米子市伯耆古代の丘公園管理業務

(ア) 淀江町の向山古墳群に隣接した場所に観光施設の拠点として平成7年4月22日開園。平成18年度より施設管理を適正に行うため指定管理制度を導入し、株式会社白鳳に施設の管理運営業務を委託している。

施設利用者の応接に関する業務を行うとともに、古代ハスや四季折々の花の育成展示、市民や児童向けに押し花、勾玉の作成、火おこし体験、埴輪の作成など古代の生活様式を体験することにより、より多くの市民、観光客に親しまれるよう各種の自主事業を実施している。

(イ) 米子市伯耆古代の丘公園指定管理委託先 株式会社白鳳
指定管理委託料 19,000,000円

(米子市伯耆古代の丘公園入園者実績)

(人)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	527	2,230	575	2,449	1,317	1,119
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,456	731	129	12	143	275	10,963

キ 米子コンベンションセンター管理運営業務

(ア) 米子コンベンションセンター(米子国際会議場を含む)を鳥取県と米子市が共同で管理運営を行い、利用者への応接や利便性の向上に努めた。

(イ) 米子国際会議場指定管理委託先 (財)とっとりコンベンションビューロー

指定管理委託料

83,751,888円

[米子国際会議場利用状況]

催し 物件 数	集 会			展 示 会	音 楽 ・ 芸 能	そ の 他	計
	大 会 式 典	講 演 会 説 明 会	会 議	展 示 会 見 本 市			
	22	52	0	17	2	25	118

利用日数 209日 稼働率 62.0%

(2) 金融対策

ア 米子市観光開発促進資金

市内において観光開発促進事業を行おうとする法人が必要とする資金の確保に協力し、本市の観光振興を図ることを目的として、県及び金融機関の協力を得て融資した。

・融資実績

区 分	融資件数	融資額	米子市預託額
継 続 分	1件	101,825,000円	16,423,000円